

東京都離島振興計画(素案)に関する意見募集の結果について

1 意見募集期間

令和5年2月24日(金曜日)から同年3月25日(土曜日)まで

2 意見提出の状況

(1) 提出された方の総数26名

(2) 提出意見の総数31件

3 御意見の概要と都の考え方

御意見の概要	都の考え方
<p>都は、太陽、風力、地熱などの再生可能エネルギーについて、その環境影響とコストについて真剣に検討すべきである。</p>	<p>今回の離島振興法の改正において、多様な再生可能エネルギーの導入及び活用が離島の役割に明記されました。</p> <p>また、法に基づく国の基本方針においても、再生可能エネルギーの推進が明記されています。</p> <p>東京都は、世界のCO₂排出実質ゼロに貢献しゼロエミッション東京を実現するため、長期的な視点を踏まえながら、実現可能性も考慮しつつ、積極的な施策を展開してまいります。ゼロエミッション東京の実現に向けては、脱炭素エネルギーへの転換が必須であり、再生可能エネルギーの導入などあらゆる施策を強化することにより、再生可能エネルギーの基幹エネルギー化を推進してまいります。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有させていただきます。</p>
<p>風力で伊豆諸島の美しい景観を破壊することに強く反対する。</p>	
<p>負の環境外部性、電気事業としての経済性の悪さ、既存手法の再評価といった、島の経済厚生を鑑みて、都は、太陽、風力、地熱などの再生可能エネルギーについて、その環境影響と費用対効果について真剣に検討すべきである。</p>	
<p>風車から受ける反射波の影響によるレーダーの探知能力の低下や電力が安定しないこと、美しい島しょ周辺の自然の景観を損うことから、風力発電システムは不採用にしていきたい。</p>	
<p>洋上風力発電は、風車から受ける反射波の影響によりレーダーの探知能力の低下やクジラの死亡事故に関連があるようだ。本当に安全が考慮されていると思えない。</p>	
<p>都は、太陽、風力、地熱などの再生可能エネルギーについて、その環境影響とコストについて検討すべきである。</p>	

御意見の概要	都の考え方
<p>不安定な太陽光パネルや風力発電ではディーゼルエンジンを無くすわけにはいかず投資が膨らむ。また風力発電はレーダーにも影響を与えるため漁船などに影響が出る恐れがある。伊豆諸島のソーラーパネル及び風力発電に反対である。</p>	<p>今回の離島振興法の改正において、多様な再生可能エネルギーの導入及び活用が離島の役割に明記されました。</p> <p>また、法に基づく国の基本方針においても、再生可能エネルギーの推進が明記されています。</p> <p>東京都は、世界のCO₂排出実質ゼロに貢献しゼロエミッション東京を実現するため、長期的な視点を踏まえながら、実現可能性も考慮しつつ、積極的な施策を展開してまいります。ゼロエミッション東京の実現に向けては、脱炭素エネルギーへの転換が必須であり、再生可能エネルギーの導入などあらゆる施策を強化することにより、再生可能エネルギーの基幹エネルギー化を推進してまいります。</p> <p>頂いたご意見は、関係部署と共有させていただきます。</p>
<p>洋上風力発電や太陽光発電は、景観を乱すだけでなく導入のためのコストがかかり、台風等の災害も多く壊れた際の安定供給にならず、修理のコストもかかるため、反対である。</p>	
<p>景観維持、騒音防止のため、風力発電建設に反対である。</p>	
<p>風力発電は低周波騒音や渡鳥殺戮、夜中の騒音、天体観測の妨害が著しい。高所でのメンテナンスが必要であることや、強風時には羽根車の回転を止める必要がある。</p>	
<p>台風の威力が強い地域に太陽光パネルや風力発電の設備を建設するのは無意味のみならず、人々の生活に危機をもたらすことになるため、やめていただきたい。</p>	
<p>風力・太陽光発電は発電が極めて不安定であり、バックアップの火力発電も必要である。二重投資になり、コストが必要以上に過大になる。風力発電、太陽光発電を伊豆諸島に拡大し設置することは景観・環境を破壊するなど望ましくない。</p>	
<p>風車による景観悪化、低周波騒音、野鳥への影響など、離島に風力発電の風車は不要である。</p>	

御意見の概要	都の考え方
<p>気候変動の為に自然環境破壊は本末転倒である。伊豆諸島に風力発電は課題だらけでメリットはない。</p>	
<p>太陽光や風力は自然任せで不安定であることや、設備寿命が短く、設備製造や設置場所整備、廃棄に必要なエネルギーが膨大であることなどから、省エネに繋がらないため、太陽光や風力の推進はすべて中止すべきである。また、その他「再生可能エネルギー」の導入量も精査すべきである。</p>	<p>今回の離島振興法の改正において、多様な再生可能エネルギーの導入及び活用が離島の役割に明記されました。</p> <p>また、法に基づく国の基本方針においても、再生可能エネルギーの推進が明記されています。</p> <p>東京都は、世界のCO₂排出実質ゼロに貢献しゼロエミッション東京を実現するため、長期的な視点を踏まえながら、実現可能性も考慮しつつ、積極的な施策を展開してまいります。ゼロエミッション東京の実現に向けては、脱炭素エネルギーへの転換が必須であり、再生可能エネルギーの導入などあらゆる施策を強化することにより、再生可能エネルギーの基幹エネルギー化を推進してまいります。</p>
<p>風力、太陽光発電等の設備により景観を損なうリスクや、環境破壊の可能性の有無が定かでないことから、再生可能エネルギーの導入について、賛成できない。</p>	<p>頂いた御意見は、関係部署と共有させていただきます。</p>
<p>荒天時や夜間でも発電が可能であり、太陽光発電ではなく風力発電が有効であると考えます。また、島嶼部においては、小型風力発電設備と蓄電池の設置が適している。</p>	<p>頂いた御意見は、関係部署と共有させていただきます。</p>
<p>毎年、稚貝放流をしているが、磯焼けによりエサとなる海藻がない現状では貝も大きくなり魚に食べられるだけである。海水温が高くても育つ海藻へ転換することが急務である。</p>	<p>藻場の再生とともに、新たな漁場造成手法の検討、優良な漁場の造成などに取り組んでまいります。頂いた御意見は、関係部署と共有させていただきます。</p>
<p>製造業は、施設の老朽化と後継者不足であり、今後継続して生産できるように都に支援していただきたい。</p>	<p>商工会を中心として、島しょの商工業者に対する販路拡大、バイヤーとのマッチングの機会創出等の経営支援などを進めてまいります。頂いた御意見は、関係部署と共有させていただきます。</p>

御意見の概要	都の考え方
<p>温暖な島しょ部の気候と海上輸送メリットを生かし、バイオマス資源生産拠点としての林業を育成すべきである。</p>	<p>伊豆諸島の森林は、その温暖な気候から、多様な樹種からなる広葉樹天然林が主体であり、観光資源として有効に活かされています。加えて、島しょ地域の特性として、防風、防潮、土砂災害防止など、災害防止機能がより重視されている状況です。頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>現状の施策のままでは、漁業は衰退し、従事者も減少し続けることが明らかである。東京都は、水産資源に恵まれた伊豆諸島をブルーバレー化することで、是非、ブルーエコノミーを成功させてほしい。そのためには、戦略特区であることを利用し、海外からの留学生の受け入れに関する規制緩和、養殖業の免許に関する規制緩和、水産系大学との連携、水産業の研究に対する補助金制度の設立等を検討していただきたい。</p>	<p>東京都では、試験研究機関等の機能の充実や漁業就業希望者をトータルで支援する体制の構築、東京産水産物のPR、品質管理の強化、販路拡大への取組に対する支援などを行っていくこととしています。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>離島留学生受入事業の推進の「留学生」はどのような意味で使用しているのか。人口が少ない所に外国の留学生が押し寄せたらどうなるのか。地元の文化は破壊される。</p>	<p>離島留学（島外生徒受入事業）は、島しょの生徒が、他の地域から来た同級生に島を案内する中で、この島のよさを改めて実感した、島しょ以外の地域から入学した生徒は、島での生活を通じて、自然と人間の共生について、もっと学びたいと思ったといった感想が寄せられるなど、双方の生徒に教育的効果が見られ、学校や地域の活性化にもつながっております。今後も、島しょ町村との連携を密にしながら本事業を進めてまいります。</p>
<p>大島の離島留学の検討について、寮を建てるための手続きに手いっぱい、ソフト面まで至っておらず、推敲を重ねる必要がある。</p> <p>また、今後の検討において、録音での議事録を作成し、運営の透明性を確保する必要がある。</p> <p>島外生徒をどのように受け入れるか、島内外の生徒にとって魅力ある離島留学の形にするためには、地域住民への周知と、可能な限り多くの島民が自分ごととして離島留学を捉えられるように関わりを持つ機会が必要である。</p>	<p>（この欄は上記の回答と重複するため、この欄には記載されません。）</p>

御意見の概要	都の考え方
<p>大島は高齢化がすすみ、主要産業の成長・拡大が見込めない中、【教育・研究の島】として、国内外から学生とその家族を受け入れることにより、島の活性化が図られる可能性がある。</p>	<p>離島留学（島外生徒受入事業）は、島しょの生徒が、他の地域から来た同級生に島を案内する中で、この島のよさを改めて実感した、島しょ以外の地域から入学した生徒は、島での生活を通じて、自然と人間の共生について、もっと学びたいと思ったといった感想が寄せられるなど、双方の生徒に教育的効果が見られ、学校や地域の活性化にもつながっております。今後も、島しょ町村との連携を密にしながらか本事業を進めてまいります。</p>
<p>留学生にとって有益かつ大島の未来にとっても、活力となるものになるためには、「ウェルビーイング」と国際的な通用性を素地におくことが必須である。 中山間地域の公立高校と提携し、1年などの短期留学などを実現してゆくことも可能ではないか。</p>	
<p>アイランドホッピングが注目されているなか、三宅島と伊豆諸島北部を結ぶ航路を新設し、神津島等への接続で伊豆諸島南部・北部を周遊できることが三宅島及び伊豆諸島全体の利益となる。東京都からの支援による航路新設が望まれる。</p>	<p>都は、離島における航路の維持を図るため、離島航路補助を実施しています。頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>伊ヶ谷港は就航率が最も期待される良港であることや有史以来噴火災害の少ない場所であることから島内において優先して整備されるべきである。</p>	<p>三宅島の実情や特性を考慮しながら、伊ヶ谷漁港の整備に取り組んでまいります。頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>関係人口が本土と島を往来し易い状況をつくるために島民用運賃に加え『関係人口用の運賃』の設定や費用補助をご検討いただきたい。 多摩地域と島を結ぶ航空便の搭乗運賃、貨物運賃も対象としてご検討いただきたい。</p>	<p>島民生活の安定及び島内産業の振興、島の住民の安全・安心の確保を図るため、貨物運賃補助や島民に対する運賃低廉化を行っています。 関係人口を創出・拡大・深化させる取組としては、地域課題を通じたワークショップの開催、住民との交流によるつながりをつくる暮らし体験ツアー等を実施していきます。 頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>

御意見の概要	都の考え方
<p>防災無線は強風時や立地によって聞こえづらく、防災無線の改修、補修だけではクリア出来ない問題を抱えている。</p> <p>防災無線だけではなく、今後はスマホへ文字や音声で情報を知らせる仕組みが必要である。</p>	<p>頂いた御意見は町村の取組となるため、島しょ町村と共有し今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>災害が発生したときの対応や早期復旧だけではなく、災害後の緊急用の生活に直結した取り組みが必要である。</p> <p>また、電力が途絶えた際にも、生活の安全・安心が確保されるための策として、再生可能エネルギーとEVなどを活用した自立した電力供給を確保するための支援策を記載すべきである。</p>	<p>東京都では、中古のZEV（電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHEV）および燃料電池自動車（FCV））の活用の促進を通じて、都内島しょ地域における防災力向上を支援するため、これらの車両を導入する方に対して、その費用の一部を助成しています。</p> <p>災害時の被害の最小化や早期復旧への迅速な対応に向けて、島しょ町村と緊密に連携していきます。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
<p>「医療、教育、農業、漁業、交通等の多分野でデジタル技術等を活用した地域課題解決が実践されている」という利島基本計画は、ぜひ推進していただきたい。</p>	<p>頂いた御意見は、利島村や関係部署と共有させていただきます。</p>

※ 頂いた御意見につきましては、趣旨を損なわない範囲で要約をしております。